



7

月、夏本番を迎えるこの頃。  
市役所の前庭などで行われる

「スカイ・ビア&YOSAKO  
I祭」。たくさん的人が冷えたビール  
を飲みながら、「YOSAKO Iソーラン  
ちとせトーナメント」で繰り広げ  
られる熱い演舞に心を震わせる。

昨年のちとせトーナメントでは、  
道内各地から集まつた28チームの頂  
点に、初めて千歳のチームが優勝に  
輝きました。

それが千歳科学技術大学YOSAKO  
Iソーラン部「光一天『こうい  
つてん』」です。

優勝した当時、光一天の代表を務  
めていたのが、山田さんです。  
山田さんは、大学に入学したとき  
にYOSAKO Iと出会いました。

「YOSAKO Iは、テレビでしか見  
たことがありませんでした。大学の  
部活紹介で初めて生の演舞を見たと  
き、不思議と自分がこの中で踊つて  
いることを想像しました」と入部し  
た当時を振り返ります。

「全員で踊っているときは、本当に  
楽しい。練習を重ねるたびに生まれる、  
踊りの一体感が手に取るように分かる  
んです。そのときのわくわく感はたま  
らないです」と語る山田さん。

しかし、昨年は、メンバーの意思  
統一ができないことに苦労しました。  
「踊りに一体感を持たせるために  
は、まずメンバー全員の気持ちが一  
つにならなければいけません。大会  
で優勝を目指すと口にする一方で、  
練習に身が入らず、チームの向かう

べき目標を見失いかけていました。  
メンバー全員には、『自分たちの踊り  
で多くの人を感動させよう』という  
強い思いをずっと、伝え続けました。  
そうして生まれた一体感。あらため  
てメンバー全員で踊っているという  
思いがこみ上げてきました」と山田  
さんは話します。

7月13、14日の2日間で行われる  
今年の「YOSAKO Iソーランち  
とせトーナメント」。

今年の光一天は、アイヌ語で「魂  
を呼ぶ踊り」を意味する「ラマツタ  
クリムセ」という演舞を披露します。  
4年間の集大成として、山田さんは  
「今年も優勝を狙います。魂を込めた私  
たちの踊りをぜひ、見に来てください  
と強い意気込みを語ってくれました。

魂をこめた演舞。たくさん  
の人に見てほしい。

人 の い る  
S C E N E R Y   O F   P E O P L E



KYOHEI  
YAMADA

山 田

泰 平



さん